

「“こころの痛み”に寄り添うコミュニケーション」コース（技能編）

〔概要〕：基礎編で学んだことを踏まえ、この技能編では6つの基本的なスキルを身につけることと、具体的な事例を通して基礎編で学んだ知識を応用することができること、さまざまな状況に対してある程度の対処ができるようになることを目指して講義・演習を進めていきます。なお、技能編での配布資料は要点のみを記したものとしますので、しっかりと各自でメモを取るようになさってください。また、サブテキストとしての出版物（こころの痛みに寄り添うためのコミュニケーション：スキル編 2,000円）をご用意いたしますので、必要でしたら受講申し込み時に合わせてお申し込みください。（全10回）

〔対象〕：技能編においては、“こころに痛みを抱えるすべての人たちに寄り添うため”に必要な基本的なコミュニケーション・スキルを修得することに興味・関心のある方が対象です。ただし、2023年度において基礎編を受講された方のみが対象となりますので、ご注意ください。なお、スキル修得、事例検討を主体とした内容となりますので、定員は20名を想定しています。

〔本講座を受講することで獲得を目指す知識・技能等〕
こころに痛みを抱える人たちに寄り添うための基本的な技能（自己覚知に基づいて共感的に反応するスキルの修得、コミュニケーションにおいて非言語サインを正確に捉え、理解し、分析する能力の向上、円滑にコミュニケーションを進めるための効果的な反応スキルの修得、コミュニケーションの質を高める仮説・検証のスキルの修得、修得したさまざまな面接技法を統合して用いるスキルの修得）等

〔講師〕：吉川 眞（広島国際大学 客員教授）

日時／会場	講座名	講座内容
1 5月8日(水) 13:00-15:00 (東広島) 5月11日(土) 10:00-12:00 (呉)	ゲシュタルトの歪みと自己覚知	次回からの演習に入る前に、基礎編の内容を別の角度から押さえ、理解を深め、広げます。コミュニケーションにおいて用いられる非言語サインは、送り手が自分の意思を表現し、受け手がその表現を言語のように読み取るにより相互理解が成立します。ただ、こころに痛みを抱えるそれぞれの方が表す言語表現も非言語サインもその意味することは個人的、社会的な意味や歪みが影響しているため、個別的な理解をする必要があることを、また、得た情報は単独ではなく文脈を踏まえた統合的な繋がりを持たせて分析・理解すべきことを学びます。
2 6月5日(水) 13:00-15:00 (東広島) 6月1日(土) 10:00-12:00 (呉)	スキル1：焦点を当てるとともに 流れに沿った反応をする	相手に注意を向け、話の内容にしっかりとついていく（理解する）というスキルは、こころに痛みを抱える人が伝えようとしていることを傾聴するという面接の基本的技術そのものです。つまり、このスキルは、こころに痛みを抱える人に最善の利益をもたらすことを意図した面接には欠かすことが出来ないもので、他のスキルに先立ってしっかりと修得しておかなければならないスキルの一つです。そこで、会話事例の一つひとつを検討しながらこのスキルの修得を目指します。
3 7月17日(水) 13:00-15:00 (東広島) 7月13日(土) 10:00-12:00 (呉)	スキル2：効果的に質問をする	コミュニケーションを促進する効果的な質問の仕方を修得するためには開かれた質問、閉じられた質問の知識に加えて、こころに痛みを抱える人（以下、文中ではCLと略）からの反応を促すための援助者側からの“最低限の促し反応”（話し手の反応を促進するための反応で、たとえば頷き、なるほど、うんうんといった相づちなど）に関する知識が必要です。そこで、この回ではコミュニケーションを促進する効果的な質問の仕方を修得することを目指します。会話事例の一つひとつを検討しながらこのスキルの修得を目指します。
4 8月7日(水) 13:00-15:00 (東広島) 8月3日(土) 10:00-12:00 (呉)	スキル3：感情の反射	感情反射をすることはなかなか難しい業です。それは、こころに痛みを抱える人が抱えている気持ちを知り、理解することが出来なければ感情反射をすることができないからです。その意味で、このスキルを修得することはいろいろな点でその意味は大きいのですが、しかしその壁は高いと言えます。その壁を越えるために不可欠な相手の気持ちを知るには、こころに痛みを抱える人が言葉で言い表していることだけではなく、どのように言い表しているかに気づくことも重要なことなのです。そのことを会話事例の一つひとつを検討することにより、このスキルの修得を目指します。
5 9月4日(水) 13:00-15:00 (東広島) 9月7日(土) 10:00-12:00 (呉)	スキル4：内容の反射	“内容の反射”をする際には、こころに痛みを抱える人が言った内容の本質に気づく必要があります。しかし、アンビバレントな私たちはなかなか本質を言語化して伝えることは無いのです。そのため、面接中は気を抜くことなく、非言語サインも含めて内容の全てに十分に注意を払い続ける必要があります。また、そのような援助者の対応を目の当たりにしたCLは、援助者に対して信頼を置くようになり、本質を少しずつ理解できるようになってくるのです。ここでも、会話事例の一つひとつを検討しながらこのスキルの修得を目指します。
6 10月2日(水) 13:00-15:00 (東広島) 10月5日(土) 10:00-12:00 (呉)	面接技法の統合（レベル1）	これまでに学んだ面接スキルについて振り返りつつ進めますが、修得した一つひとつのスキルを上手く連動させることが出来なければスムーズに面接に反映させることが出来ず、得ることができる情報は薄っぺらなものとなってしまいます。つまり、十分に寄り添えないこととなりますので、修得したスキルを統合して用いることの二つができるように事例を通して練習をします。
7 11月6日(水) 13:00-15:00 (東広島) 11月9日(土) 10:00-12:00 (呉)	面接技法の統合（レベル2）	これまでに修得したスキルについて、繋がりを持たせながら統合して用いることができるように事例を通してさらなるスキルアップを図りながら、援助者の感情をこころに痛みを抱える人に伝えること、対決すること（confrontation）、自己開示（self-disclosure）することなどの上級者レベルのスキルもあることを学びたいと思います。
8 12月4日(水) 13:00-15:00 (東広島) 12月7日(土) 10:00-12:00 (呉)	事例研究1：	拙著の「こころの痛みへの気づき-患者への共感的支援のために」から2、3の事例を取り上げ、基礎編、スキル編を通してこれまでに学んだ知識を総動員して頂き、皆さんと一緒に事例研究をしたいと思っております。ちなみに、事例研究というのは、一つひとつの事例の中の一つひとつの情報や統合・連結させた情報に対してさまざまな角度から“仮説”を立て“検証する”というプロセスを踏むことで、こころに痛みを抱える人にとって最善の利益をもたらす関わりとは何かについて考える力を修得する手法です。
9 1月8日(水) 13:00-15:00 (東広島) 1月11日(土) 10:00-12:00 (呉)	事例研究2：	拙著から2、3の事例を取り上げ、基礎編、スキル編を通してこれまでに学んだ知識を総動員して頂き、皆さんと一緒に事例研究をしたいと思っております。
10 2月5日(水) 13:00-15:00 (東広島) 2月8日(土) 10:00-12:00 (呉)	事例研究3：	拙著から2、3の事例を取り上げ、基礎編、スキル編を通してこれまでに学んだ知識を総動員して頂き、皆さんと一緒に事例研究をしたいと思っております。

【留意事項】

・開講日は月1回程度で、原則、第1水曜日（東広島キャンパス：13:00～15:00）第1土曜日（呉キャンパス：10:00～12:00）を予定しております。

※東広島・呉キャンパスとも同内容で、好きな時間帯・会場で学習いただけます。